

いま最も注目を集める
ピアニスト 反田恭平が
アララにやってくる！

Cover Artist Interview

反田恭平

Kyohei SORITA

ピアニスト

2021年第18回ショパン国際ピアノコンクールで日本では半世紀ぶりの第2位を受賞。2016年のセンセーショナルなデビュー・リサイタル以降、毎年オーケストラ、リサイタルのツアーを全国で行っている。2018年からは室内楽や自身が創設したジャパン・ナショナル・オーケストラのプロデュースも行っており、2021年5月にはオーケストラのための新会社を立ちあげ、奈良を拠点に世界にむけて活動を開始。2019年にはイー・プラスとの共同事業でレーベルを立ち上げ、2020年のコロナ禍ではいち早く有料のストリーミング配信を行うなど、クラシック音楽の普及にも力を入れている。また若手音楽家とファンを繋ぐ、音楽サロン「Solistiade(ソリスティアード)」も運営。現在、ウィーンで指揮の勉強を始めている。

反田恭平 <ピアニスト>



ピアニスト反田恭平と 若手スター集団オーケストラ、 ジャパン・ナショナル・オーケス トラがアールに初登場！

ピアニスト反田恭平は昨年、日本初となる株式会社化したオーケストラを設立した。それが若手トップ奏者を揃えたスーパースター・オーケストラ、ジャパン・ナショナル・オーケストラ（以下JNO）だ。反田の弾き振り（指揮）とピアノを同時演奏×JNOがアールで熱演を披露する！

JNOが始動して1年半余りが経ちましたが、これまでの感触はいかがですか？

JNOはメンバーそれぞれのリサイタルシリーズを一つの柱として開催しています。最初は結構大変な思いをしていましたけれど、1ヶ月前より今、その後さらにという感じで僕たちを知ってくださる方が増えてきているのを感じています。なので、これは積み重ねが肝心かなと思っています。そもそも毎月公演をいくつもやっているオーケストラではなく、久しぶりに会ってお互いの成長にみんな刺激を受け合いながら、アンサンブルをしつづけています。

今回は、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第2番と、モーツァルトの交響曲第38番『プラハ』がメインです。聴き応えたっぷりのカデンツァや、JNOのソリストテックな響きも堪能できる楽しみなプログラムですね。

ベートーヴェンの2番のピアノ協奏曲は2020年に僕たちは弾いていますが、コロナ禍だったので3回しか公演ができなかったんです。ですから、もう1回弾きたいという強い思いがありました。また、前回この曲の演奏では、メンバーの意識が非常に集中していたのを感じました。今回は途中で差し掛かっているその団結力を、確かなものにしたいと考えています。カデンツァは前回、自分で書いた短いものを演奏したのですが、今回はベートーヴェンが書いたカデンツァに初めてトライします。『プラハ』は、指揮の先生からも課題で出され勉強している曲です。面白いアイデアがたくさんあるので、ぜひ注目してほしいですね。

今年からウィーンに拠点を移し指揮を学ばれているんですね。

高校の時に副科で齋藤秀雄先生の指揮教程を学んで、これまではその教本が自分の中である程度を占めていたんですが、やっと本格的に指揮のいろはを学ぶことになりました。レッスンは結構長くて、1回で4、5時間ということもよくあります。指揮の勉強で面白いのは身体の動かし方ももちろんですが、頭の使い方です。自分がどういう音楽をイ

メージしているのかをオーケストラに伝えることなんです。指揮者は音を出さないの、で、ただその音楽をイメージできるかが勝負です。指揮台に立つて、例えば悲しい音を出したい時にどれだけ悲しいことを思い浮かべられるか。それを自分が出したい音として先取りし、イメージして振らなければいけないのが一番難しいと感じています。



一目標とする指揮者はいますか？

ピアニストに関してこそそうなんですが、特にはいないんです。ただ、僕と同じくピアニストから指揮に転向したり指揮もする方は、同じタイプの人間だと感じていますし尊敬しています。ダニエル・バレンボイム、ミハイル・プレトニョフ、チョン・ミョンフンといった

ala Collection シリーズ vol.13

『百日紅、午後四時』

可児公演に続いて全国へ—

ala Collectionシリーズは、第一線で活躍するキャスト・スタッフが可児市に約1か月半滞在しながら質の高い演劇作品を創作し、その作品を可児市から東京、そして全国に向けて発信するプロジェクトです。本作『百日紅、午後四時』は、劇団ラッパ屋主宰の鈴木聡の新作書き下ろし。市毛良枝演じる一美が、人生百年を前向きに生きるため、新たな一歩を踏み出す、ひと夏の物語です。可児公演終了後は地方公演、東京公演と全国を巡ります。



東京公演 吉祥寺シアター TEL:03-5797-5502(石井光三オフィス)

2022年 10月20日(木)→27日(木)

	10/20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木
14:00	●		●	●	●	休演日		●
19:00		●					●	

■全国公演情報

10/8(土) おおぶ文化交流の杜allobu TEL:0562-48-5155
 10/9(日) 豊田市民文化会館 TEL:0565-33-7111
 10/16(日) 長岡リリックホール TEL:0258-29-7715
 10/29(土)、30(日)能登演劇堂 TEL:0767-66-2323



方々でしょうか。ピアノ出身者の一番のメリットは、1人でシンフォニーを弾けること。ピアノは多声部の楽譜を演奏することが日頃から当たり前にあるので、そういう意味でも何声部もあるシンフォニーのスコアを読んで、1人で練習できることは武器であると思います。

指揮を勉強したことで、ピアノを弾く際に変化したことはありませんか？

あります、ありますー中学生の頃から、ピアノの音を何の楽器かと例えるのがとても好きです。この声部はコントラバス、ここはファゴットとか。ピアノの演奏で、ここはよくわからないなという時には、1人で指揮を振ったりします。そうすると違う視点からイメージができるんです。シンフォニーやコンチエルトなどを指揮して強く思うことは、ピアノは自由に1人で弾けるけれど、オーケストラで演奏する時は、基本的に大きく変えられないところが絶対にあるということです。オーケストラは1stヴァイオリンが10人いれば、10人の音で一つの1stヴァイオリンの音が出来るわけです。これはやっぱりピアノだけを勉強していても、なかなか身につかない技術であり考え方だと思います。

JNOのキャラクターや特色、これから目指す音楽性はどのようなものでしょうか。

キャラクターが形になるにはまだまだですが、ここ3年はとても大事な時期だと思っています。JNOは、常にみんなと一緒に活動しているオーケストラではないですね。だからまずは、僕自身がどういう音を欲しているかを、言葉ではなく指揮の技術で正確に伝えられるようになりたいです。その上で、将来はウィーン・フィルのような虹色の音をJNOでも作りたいなと思っています。ウィーン・フィルは「みんながウィーン・フィルというのが僕のイメージです。現地で聴いて感じたのは、彼らは世界に一つしかない特別な音を持っているということ。それには楽器の音色や音楽の方向性の統一感だったり、いろいろな理由があると思います。僕らもそうした唯一の顔を持つようなオーケストラを作りたいなと考えています。喫茶店で流れてきたら、「あ、これJNOだね」というくらい、音楽を聴いてわかってもらえるようなそんなオーケストラを目指したいですね。

最後に、今年開館20周年のアニヴァーサリーを迎えるアキラとお客様へメッセージをお願いします。

我々が一緒に集まって演奏すること自体が、楽しみでならないんです。それをアキラのような素敵なホールで演奏していくことが、我々にとってとても大切なことだと思っています。アキラの公演は今回のツアー初日。多分みんながとりわけ力を入れています。僕が一番力が入っているかもしれないですけど（笑）。ぜひ、楽しみにしていただけたらなと思います。

取材／中村ゆかり 撮影／安田慎一 協力／フリーペーパーBMEG



©Kenryo Gu

チケット完売御礼

反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ

※関連企画「リハーサル見学＆サウンドイッチセット」も完売しました。

日時 11/2(水) 18:30開演(17:45 開場)

会場 主劇場

| プログラム |

ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 作品19

モーツァルト／交響曲第38番 二長調 K.504「プラハ」 ほか

テネシー・ウィリアムズの最高傑作にしてアメリカ演劇の不朽の名作

文学座公演『欲望という名の電車』

日時 11/9(水) 18:00 11/10(木) 14:00

原作:テネシー・ウィリアムズ 訳:小田島恒志

演出:高橋正徳

出演:山本郁子、鍛冶直人、助川嘉隆、渋谷はるか
中川雅子、大滝 寛、沢田冬樹、千田美智子
柴田美波、西村知泰、磯田美絵、小林勝也

スタンリー役で出演を予定していた横田栄司は、心身の不調により降板させていただくことになりました。代わりに鍛冶直人が務めます。横田の出演を心待ちにして下さっていた皆さまに心よりお詫び申し上げます。

会場 小劇場

料金 全席指定 4,000円 25才以下 2,000円

発売中   



山本郁子



鍛冶直人

大切な誰かに宛てた恋文を、心を込めて

シリーズ恋文 vol.12

日時 11/26(土) 14:00 11/27(日) 14:00

秋田県二ツ井町(現・能代市二ツ井町)で開催されていた「日本一心のごもった恋文」コンテストの受賞作を、俳優による朗読とピアノの生演奏で贈る、アーラ・オリジナル企画。

構成・演出:藤井ごう

出演:北村有起哉、山田真歩

音楽:黒木由香

会場 小劇場

料金 全席指定 4,000円
25才以下 2,000円

発売中   



北村有起哉



山田真歩

長谷川彰子率いる精鋭たちによる弦楽四重奏の調べ

新日本フィルメンバーと仲間たち

日時 12/11(日) 14:00

新日本フィルハーモニー交響楽団チェロ首席奏者・長谷川彰子を中心となって結成されたアンサンブルが、弦楽四重奏の名曲で極上のハーモニーを聴かせます。

|プログラム|

ベートーヴェン／

2つのオブリガート眼鏡付きの二重奏曲 変ホ長調

WoO.32、弦楽四重奏曲 イ短調 作品132

メンデルスゾーン／弦楽四重奏曲 イ短調 作品13

出演:山本美樹子(ヴァイオリン)、三雲はるな(ヴァイオリン)

脇屋冴子(ヴィオラ)、長谷川彰子(チェロ)

会場 小劇場

料金 全席指定 3,000円 25才以下 1,500円

発売日 10/8(土)   



豪華ゲストを招いてバージョンアップ!

古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会

日時 12/16(金) 18:00

お馴染みの「風間杜夫 落語独演会」に、古典落語の名手・古今亭菊之丞をゲストに迎え、落語とトークをお届けします。

会場 小劇場

料金 全席指定 3,500円
25才以下 1,750円

発売日 10/8(土)   



風間杜夫



古今亭菊之丞

親子で楽しむ不朽の名作オペラ

オペラシアターこんにゃく座 オペラ『森は生きている』オーケストラ版

日時 12/18(日) 14:00 ※開場 13:15

「もえろ、もえろ、あざやかに!」さむいさむい12月のおわり、深い森の奥で焚火を囲むのは十二の月の精たち。そこを訪れた一人の娘と、わがままな女王が繰り広げる、おもしろくも、ハッとする、美しい物語。『オペラシアターこんにゃく座』の名作が、新演出・オーケストラ版として、15年ぶりに可児に帰ってきます! オペラデビューにもうってつけ。この冬は、みんなでオペラを楽しもう!



会場 主劇場

料金 全席指定 4,000円 25才以下 2,000円

発売日 10/15(土)    ※4才から入場可

映画音楽とシュトラウスファミリーの華やかな名曲とともに

新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2023

日時 1/9(月・祝) 16:00 ※開場 15:15

近年目覚ましい活躍を見せる若手指揮者・角田鋼亮がアールに初登場。新日本フィルハーモニー交響楽団とともに新年にふさわしい華やかな映画音楽やシュトラウスファミリーの曲をお聴かせします。

|プログラム|

J.ウィリアムズ/「スター・ウォーズ」より メインタイトル

久石譲/「となりのトトロ」より 風の通り道、エンディング

J.シュトラウスII/ワルツ「美しく青きドナウ」ほか

会場 主劇場

料金 全席指定 7,000円 25才以下3,500円

発売日 10/15(土)   



指揮:角田鋼亮



アール映画祭2022

ala film festival

会いにゆこう、心ゆきふも映画に

今年も市民ボランティアのアール映画祭実行委員会が厳選したおススメ作品を上映!

日時 11/5(土) - 11/6(日)
11/13(日) - 11/14(月)

料金 全席指定 900円 25才以下 450円

発売中

会場 映像シアター

主催：アール映画祭実行委員会、(公財) 可見市文化芸術振興財団

上映スケジュール	11/5(土)	11/6(日)	11/13(日)	11/14(月)
10:00	『映画 太陽の子』ハ	『浜の朝日の嘘つきどもと』	『いとみち』緑 横浜聡子監督トーク	『梅切らぬバカ』ハ
14:00	『浜の朝日の嘘つきどもと』 タナダユキ監督トーク	『そして、バトンは渡された』字・雑	『すばらしき世界』	『すばらしき世界』雑
18:30	『映画 太陽の子』ハ		『いとみち』緑	『梅切らぬバカ』ハ

ハ …パリアフリー日本語字幕付き上映

字 …日本語字幕付き上映

緑 …日本語標準語字幕付き上映

雑 …映画雑談会

『映画 太陽の子』

2021年/111分



監督
黒崎博

出演
柳楽優弥、有村架純
三浦春馬 ほか

かつて存在した“日本の原爆研究”。その事実を背景に、3人の若者の決意と揺れる想いを描いた300日の青春グラフィティ。

『浜の朝日の嘘つきどもと』

2021年/114分



監督
タナダユキ

出演
高畑充希、柳家喬太郎
大久保佳代子 ほか

映画へのかけがえのない思いと、恩師との約束を果たすため、小さな“嘘”をついても守ろうとしたオンボロ映画館のお話。

『そして、バトンは渡された』

2021年/137分



監督
前田哲

出演
永野芽郁、田中圭
岡田健史 ほか

血の繋がらない父と娘。血の繋がらない母と娘。はじめて知った家族の〈秘密〉は、あまりにも切なく、愛おしい〈嘘〉でした。

『いとみち』

2021年/116分



監督
横浜聡子

出演
駒井蓮、豊川悦司
黒川芽以 ほか

先の見えない時代における、津軽三味線がつむぐ珠玉の人間ドラマ。青森出身、横浜聡子監督の最高傑作!

『すばらしき世界』

2021年/126分



監督
西川美和

出演
役所広司、仲野太賀
六角精児 ほか

実在した男をモデルに、刑期を終えた受刑者が社会復帰のため悪戦苦闘する姿を描き、「社会」と「人間」の今をえぐる問題作!

『梅切らぬバカ』

2021年/77分



監督
和島香太郎

出演
加賀まりこ、塚地武雅
渡辺いっけい ほか

「このまま共倒れになっちゃうのかね?」母親と自閉症を抱える50歳の息子が、社会の中で生きていく様を温かく誠実に描く感動作。

監督トーク情報

11/5(土)14:00の回
上映後 登壇

『浜の朝日の嘘つきどもと』監督
タナダユキ 監督



11/13(日)10:00の回
上映後 登壇

『いとみち』監督
横浜聡子 監督



映画雑談会

映画祭実行委員とお客様が、観た映画や好きな映画についておしゃべりする会です。
6日14:00の回、14日14:00の回の上映後に開催します。(30分程度)
会場：ワークショップルーム和室(2F)

チケット取扱 / 可見市文化創造センター・インフォメーション

ネットで
予約する



<https://www.kpac.or.jp>

24時間いつでも予約可能! ネットでのカード決済も可能。
お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で!



電話で
予約する

TEL.0574・60・3050

お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で!

9:00~19:00

(火曜休館 / 祝日の場合は開館 翌平日休み)

窓口で
購入する

窓口でご利用可能なカード



- 発売日は窓口・ネットで販売。電話予約は翌日からとなります。
- 表記のない公演の開場は開演30分前です。
- 振込による代金支払い・チケットの配送サービス(有料)もごさいます。
- 表記のない公演の未就学児の入場はご遠慮ください。託児サービスは中止しております。
- 25才以下のチケット料金は各種割引サービスの対象外です。
- 公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前引き取りにご協力ください。また、当日は余裕を持ってご来場をお願いします。

簡単・便利自宅
でチケット予約



インターネット予約

みんなで観ると
最大30%割引!



ビッグコミュニケーションチケット

【ビッグコミュニケーションチケット】

- 4人~5人で10%割引
- 6人~7人で20%割引
- 8人以上は30%割引

※同日同時の公演を同時購入する場合のみ。

残席がダン!ダン!
安くなる!



DAN-DANチケット

【DAN-DAN チケット】

- 残席がある場合に限り公演日
《1週間前から20%割引》、《当日は半額》になります。

※インターネットは0時から。

窓口・電話は9時から。

日	曜	開演 予定	終演 予定	催事名	入場	問合せ先
---	---	----------	----------	-----	----	------

主劇場(宇宙のホール)

2	水	18:30	20:30	反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ	チケット完売	可児市文化創造センター	0574-60-3311
3	木・祝	13:30	17:00	DDP ダンスコンテスト	全席自由 500 円 (出場者は指定席)	NPO法人 DDプロモーション	npoddp2020@gmail.com
6	日	13:30	16:00	多治見市交響楽団 第 29 回定期演奏会	全席自由 1,000 円 (高校生以下要整理券)	片山健二	0572-25-7465
10	木	13:30	15:15	可児高等学校 学校寄席 (芸術鑑賞会)	関係者	可児高等学校	0574-62-1000
11	金	①11:00 ②14:00	①12:00 ②15:00	それいけ! アンパンマン ショー	関係者	JA 共済連岐阜	058-276-5541
12	土	10:00	16:00	岐阜県高等学校文化連盟 総合文化祭 合唱部門・ 第 91 回岐阜県高等学校 連合音楽会	無料	岐阜県立八百津高等学校 馬場	0574-43-1231
13	日	13:30	16:00	可児口腔保健講演会	無料	可児口腔保健協議会	0574-62-7462
18	金	17:00	20:45	岐阜 0574 音楽祭 vol.3	全席指定 2,500 円	RAGZA	058-263-0990
19	土	13:30	15:35	令和 4 年 可児市青少年育成シンポジウム	無料	市人づくり課	0574-62-111 (内線 2116)
23	水・祝	14:30	16:15	ル・プティ・スペクタクル 2022	関係者	レスポワールドゥ・バレエ	0574-42-9444
27	日	14:00	16:00	メンネルコール・シュトローム 第 7 回定期演奏会	全席自由 500 円	所 良幸	090-3254-9451
28	月	①14:00 ②18:00	①16:00 ②20:00	東濃信用金庫創業 100 周年記念事業「坂本冬美コンサート」	関係者	東濃信用金庫 営業統括部	0120-330-111

小劇場(虹のホール)

2	水	10:00	11:30	令和 4 年度 可児市戦没者追悼式	関係者	市福祉支援課	0574-62-111 (内線 3178)
3	木・祝	①13:30 ②16:00	①15:30 ②18:00	2022 ピアチェレ発表会	関係者	(株) 松栄堂楽器	0574-63-315
5	土	13:30	15:20	デュオコンサート 歌の花束	全席自由 1,000 円	田中清美	0572-25-582
6	日	12:00	16:00	ピアノ発表会	無料	石川修恵	090-1721-654
9・10	水・木	⑧18:00 ⑨14:00	⑧20:45 ⑨16:45	文学座公演『欲望という名の電車』	詳細は P4	可児市文化創造センター	0574-60-3311
12・13	土・日	④13:45 ⑤10:00	各日 19:00	個人レッスン発表会	無料	(株) 松栄堂楽器	0574-63-315
19	土	16:00	17:45	K Dance Art Work 2022	全席自由 500 円	加藤真弓	0574-67-032
20	日	①12:30 ②16:30	①16:00 ②18:00	音楽発表会	関係者	小山季実子	080-1591-439
26・27	土・日	各日 14:00	各日 15:30	シリーズ恋文 vol.12	詳細は P4	可児市文化創造センター	0574-60-331

ギャラリー

2~4	水~金	10:00	17:00	洋服にステンシル 初日 13:00 から 最終日 16:00 まで	無料	山田珠予	0574-62-2806
24~27	木~日	9:00	17:00	彩游会展 (日本画・水彩画の展示) 最終日 15:00 まで	無料	宮原 剛	0574-65-3008
30~12/4	水~日	9:00	22:00	第 30 回可児市文芸祭 作品展 最終日 13:00 まで	無料	可児市文化創造センター	0574-60-3311

- ・入場者多数の場合、定員以上はご入場いただけません。主催者都合により入場制限をする場合がありますので、整理券等の有無につきましては事前に主催者にご確認ください。
- ・主催者都合により発行後内容が変更になる場合があります。催しの詳細につきましては主催者にお問い合わせください。・劇場につきましては本番ご利用日のみ掲載しております。
- ・駐車場に限りがありますので、公共交通機関の使用等をお願い致します。・9/1 時点でのお申し込み状況、予定を掲載しています。

おすすめ
作品紹介

文学座

欲望という名の電車

上流階級の娘としてアメリカ南部の大農場で育ったブランチ・デュボアだが、零落した彼女は、ニューオーリンズの場末に暮らす妹のステラとその夫・スタンリーの貧しいアパートに身を寄せる。しかしその生活は華麗な過去を忘れないブランチには想像も出来ないものだった。スタンリーは派手に振る舞うブランチに苛立ちを感じ、二人は反発しあう。そんな中、ステラは新しい命を宿す。ブランチはこの生活から抜け出そうとスタンリーの友人のミッチにすがる思いで希望を託すが…。

本作は1947年にブロードウェイで初演、1951年映画化（ヴィヴィアン・リー、マーロン・ブランド出演）。1953年日本初演となる文学座公演では、杉村春子がブランチ役、北村和夫がスタンリー役を務めました。以来、上演回数594回を記録し、文学座の伝説的な演目として上演され続けてきました。

テネシー・ウィリアムズの最高傑作にして
アメリカ演劇の不朽の名作

演出を手掛けるのは、川村毅、鐘下辰男、佃典彦、東憲司、青木豪など多くの現代作家の新作を演出し、近年ではミュージカル『ストーリー・オブ・マイ・ライフ』の演出も務めた高橋正徳。高橋は2019年に上演した文学座公演『ガラスの動物園』の演出に続き、再びテネシー・ウィリアムズの最高傑作に挑みます。舞台上の俳優たちとお客様とのエネルギーがぶつかり合い、どのような化学反応を生み出し、スパークしていくのか…。新たな伝説の誕生をお見逃しなく！

スタンリー役で出演を予定していた横田栄司は、心身の不調により降板させていただくことになりました。
代わりに鍛冶直人が務めます。鍛冶直人のパワフルなスタンリー役をご期待ください。



山本郁子(プランチ役)



鍛冶直人(スタンリー役)



助川嘉隆(ミッチ役)



渋谷はるか(ステラ役)



小林勝也(医師役)



演出：高橋正徳

3年前に文学座公演でテネシー・ウィリアムズの『ガラスの動物園』を演出して以来、いつの日か『欲望という名の電車』も演出したいと思っていました。そしてその日がこんなに早く訪れるとも思っていませんでした。文学座では杉村春子が、座外でも沢山のカンパニーが名演を重ねてきたこの芝居に、新たな息吹を吹き込みたいと思っています。

未だ続くコロナ禍の中で、我々は人間が存在し続ける事の不安定さや孤独を目の当たりにしました。そして我々は孤独を抱えて生きていこうとしています。そういった人間の姿が、この芝居の舞台であるニューオーリンズのエリージャン・フィールド(天国)という街路の片隅に生きる人々と、そこにある日突然現れたブランチ・デュボアの姿に重なるのです。

我々はそれでも生きてゆく。

1947年ブロードウェイで初演されたこの芝居は、75年たった今でも色褪せることはありません。ご期待下さい!!

文学座公演
『欲望という名の電車』

日時 11/9(水) 18:00

11/10(木) 14:00

会場 小劇場

料金 全席指定 4,000円 25才以下 2,000円

発売中

館長エッセイ

『欲望という名の電車』

可児市文化創造センター館長 筈橋義朗

11月9日、10日に文学座公演『欲望という名の電車』を上演します。アールでは2015年に『女の一生』を上演しましたが、両作品とも文学座のレパートリーを代表する歴史的な作品であり、本作『欲望という名の電車』の主人公である「プランチ役」は『女の一生』の「布引けい役」と並ぶ、名女優・杉村春子の当たり役として語り継がれている作品です。

この地域では、東京のように年間を通して上演活動を行っている劇団が少なく、演劇公演を鑑賞する機会に限りがありますが、アールでは文学座との「地域拠点契約」を結んでいることにより、毎年1作品、文学座の公演を皆様にお届けすることができています。

アールはその建設にあたって、音楽、演劇、ポップス、伝統芸能など、多種多様な芸術ジャンルの演目に対応できるよう専門的かつ多目的なホールとして建設されていることから、今後も多彩な公演を展開していきたいと思っています。

今後のアールの鑑賞事業をプログラムするにあたっては、ジャンルを問わず、多くの人が支持してきた歴史的な名作を取り上げたり、可児市にゆかりのあるアーティストを積極的に紹介していきたいと思っています。

『名作』とは上質で有名な作品ということですが、言い換えれば、長い年月をかけて多くの人の心のふるいにかけれながら、生き残ってきた「普遍性のある」作品ということだと思っています。作品に「普遍性」が無ければ、一部の愛好家や評論家だけが評価しても時代を超えて、残ってはいかないのです。

今回の『欲望という名の電車』は、アメリカ映画でも日本の演劇でも不朽の名作です。ちなみに私はヴィヴィアン・リーとマーロン・ブランドの映画でしか観たことではないので、どんなセリフになっているのだろうと、今から楽しみにしています。今回初めて鑑賞される皆さま、改めて観てみたいと思う皆さま、アール小劇場でお待ちしています。

essay

多文化共生プロジェクト2022 公演レポート 「BORDER」

ボーダーってなんだろう？ 今日何回笑った？



【多文化共生プロジェクトとは】

可児市には外国にルーツがあり多様な文化的背景を持つ人達が人口の約8%在住しています。可児市の多文化共生の理念の柱の1つである、“地域社会における共生”を図ることを目的として、アールでは多様な言語や文化的背景を持つ地域の人々と共に、2008年からドキュメンタリー演劇を制作しています。

プロジェクト15年目となる今回は、「BORDER（境界線）」をテーマに、演出・脚本の鹿目由紀さんが、5月中旬から7月中旬までの約2か月間をかけて、外国籍や日本国籍合わせて延べ35人にインタビューをおこない、台本をつくりました。

外国籍の人の話を聞くと、日本社会で体験した言葉の壁や、学校・仕事でのハラスメントなどの大変なエピソードが多々あり、話を聞いているこちらも辛くなることが多かったです。しかし、できあがった台本は、そのような辛いエピソードを織り込ませながらも、様々なボーダー（違い）を認め合う関係性を描いて希望が持てるものでした。

稽古は、6月末から始まり、土日に計14日間おこないました。稽古初日は急な参加辞退もあり8人だった出演者でしたが、日を重ねることに徐々に増えて最終的にはブラジル、フィリピン、トルコ、ボリビア、日本にルーツを持つ16人の出演者となりました。本番の2週間前までセリフや演技の修正・工夫など、みんなで協力して意見を出してそれを演出の鹿目さんが編み上げるように演劇を作り上げ、通し稽古ができたのは本番の1週間前でした。制作担当として、みんなが対等にアイデアを出し合うクリエイティブな状況に立ち会っている面白さと同時に、このままで8月14日の公演に間に合うのかという切迫感でハラハラドキドキ

の大詰めでした。

公演は、コロナ禍で開催自体が危ぶまれましたが、公演前日の出演者の抗原検査も全員陰性となり、無事開催することができたのは幸運でした。公演のお客様のアンケートでは『とにかく圧倒されました！涙が止まりませんでした。あえて作らないといけないボーダーもあるんだと気づきました』という感想をはじめ、ボーダーを一律的に無くすのではなく、ひとそれぞれのボーダー（違い）を理解することが大切なんだと気づいたという感想が多かったです。「違い」を「豊かさ」に感じる事がこのプロジェクトの目的でもあったので、とてもうれしい感想でした。公演後の参加者のアフタートークでは、外国籍の出演者から出た『日本に来て16年経つが、初めて（日本社会で）受け入れてもらえた』『舞台上に立つことがない人が、それぞれ表現できることをお客さんに観てもらい、その大切さを感じた』という話が印象的でした。

「違いを認め合う仲間と、その場所があること」は、とても豊かであると身をもって実感したプロジェクトでした。今後もこのような居場所をアールで創れたらと願っています。

（事業制作課 半田）



10月のおすすめ

秋の夜長をバルで楽しむ

秋から冬にかけて美味しい食材が出回る季節がやって参りました。じゃぱんサンドイッチでは、秋の食材のサンドイッチを期間限定でリリース致します。今年の夏、好評だったビアガーデンに続き、10月からは店内にてお酒とお食事ができるバルになります。オシャレな店内で、楽しい時間をお過ごし下さい♪
夜の御予約（2名～35名位まで）も承っております。貸し切りは50名までです。換気システムがしっかりしておりますので、皆様のご予約を心よりお待ちしております。

TEL 0574-63-5223

営業時間 9:00～20:00

アール主催・共催公演チケット提示で、公演日から1か月間、飲食代が10%OFF（一部対象外公演あり） ※お一人様チケット1枚につき1回限り有効

可児市文化創造センター ala

開館時間／9:00～22:30

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
https://www.kpac.or.jp

info@kpac.or.jp

TEL.0574-60-3311 FAX.0574-60-3312



10月は4、11、18、25日
11月は1、8、15、22、29日

（火曜休館／祝日の場合は開館 翌平日休み）



@kani_ala